



## 2018年を終えるにあたって

2018年の登校日も、本日を以て終了となります。この一年間、皆さんは大きく成長できたと思います。そして、その成長した成果を発揮する勝負の年が間もなく来るのです。「センター試験」まで残すところ、あと25日です。自分の夢の実現に近づくための第一関門となる「センター試験」に向けてのラストスパートです。限られた日数ではありますが、最後まで粘り強く机に向かい、今できる最大限の努力をしてほしいと思います。ここからの期間は、不安や焦り、苛つく気持ちも大きくなることと思います。それが「受験」というものであり、人生の中での大きな転機となるのです。「受験」というものは、皆さんにとって大きな壁ではありますが、大きなチャンスであるとも考えます。

『壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから、壁がある時はチャンスだと思っている。』 ～イチロー選手の言葉より～

この『壁』というものを「行き止まり」とか「ゴール」と捉えてしまう人もいます。しかし、その『壁』に対して「それを越えよう」「その先に進もう」という気持ちを持てる人が、単なる「壁」として認識できるのだと思います。皆さんは、この三年間で困難を乗り越える力を養ってきました。冬冬番を迎え周りの木々は葉っぱを落としましたが、これから春に向けて大地に根を張り、風雨に負けないよう幹を太くし、四方八方に枝を伸ばし、そして春が近づくと芽吹き、花が咲くのです。まさにこれまで皆さんが三年間やってきたことと結びつきます。基礎基本を徹底し、困難に耐えられる心と体を作り、様々な経験を通して視野を広げながら成長し、最後に「進路実現」という大きな花を咲かせるのです。皆さんだったら、壁を乗り越えチャンスに変えられると信じています。だからこそ、この冬休みの一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。



最後に、受験生の皆さんにはクリスマスも正月もないと思いますが、ドイツ語でクリスマスと新年の挨拶を送ります。

Frohe Weihnachten und ein glückliches neues Jahr!  
(楽しい クリスマス と 幸せな 新年を！)

三年次、231名の健闘を祈っております。

## 保護者のみなさまへ

いよいよセンター試験が近づいてきました。生徒たちが最高の状態で受験に臨むことができるよう、教員一同準備していきたいと考えていますので、ご家庭でもご理解とご協力をお願いします。1月8日(火)9日(水)には、学校にてセンターリハーサル、センター試験受験翌日の自己採点の結果を元に、国公立大学の出願検討のための懇談が行われます。日程につきましては、後日担任から連絡いたします。

冬休み中は規則正しい生活リズムを保ち、学習に集中できる環境をつくっていただきたいと思います。また、センター試験の会場は生徒によって異なりますので、冬休み中に交通経路などを確認しておくこともお勧めします。

今年一年、さまざまな面において、大変お世話になりました。  
来年も宜しく願いいたします。

3年次主任 小林 健

## 1月行事予定 ～「自分を信じる!」「自分を高める!」「自分と戦う!」～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	火		元旦	16	水	B	第5回マナーアップ運動
2	水			17	木	B	
3	木			18	金	B	センター試験激励会
4	金			19	土		センター試験
5	土			20	日		センター試験
6	日			21	月	A	きずなの日 センター試験自己採点
7	月		冬季休業終了	22	火	A	短縮45分授業
8	火	行	センター試験リハーサル	23	水	A	短縮45分授業
9	水	行	センター試験リハーサル	24	木	A	短縮45分授業
10	木	A		25	金	A	短縮45分授業 第3回生活実態調査 出願指導面接
11	金	B	PTA進路福祉委員会	26	土		
12	土			27	日		
13	日			28	月	B	きずなの日 短縮45分授業 出願指導面接
14	月		成人の日	29	火	B	短縮45分授業 出願指導面接
15	火	B		30	水	B	大掃除 前期募集選抜検査会場準備
				31	木		前期募集選抜検査(家庭学習日)

- ※1 21日(月)の自己採点の日は絶対に登校してください。万が一、受験や病気で欠席しなければならないときは問題冊子を学校へ届ける手配をお願いします。→各担任・副担任が自己採点を代行します。
- ※2 私立大学の受験日が学校の授業日や登校日と重なる人は、「受験のための出席停止届」を提出してください。事前に手続きがされないと欠席になります。

◎今回は、6組副担任の渡辺久弥先生の寄稿を掲載します。

### 「一分一秒を大切にひたむきに」

いよいよ平成最後の冬、3年生にとっては最後の正念場がやって来ました。毎日の授業は本番を想定したセンター試験演習となり、皆さんの答案を書く音が静かな教室に響きます。

若い頃クラス担任をしたとき、クラスの中に看護師志望の生徒が2名いました。2人とも明るく思いやりがあり、看護師を志望する理由も明確で、もし看護師になったら素晴らしい看護師になるだろう、と思われました。

県内の看護学部を受験することになり、2人とも準備を毎日頑張りました。合格発表の日が来ました。2人と一緒に合格掲示板を見に行きました。残念ながら1人は合格し、もう1人は不合格となりました。帰りの車内の雰囲気のみならず、学校に戻ってから話をしたときのことは今でも覚えています。

一晩泣き、彼女の受験はリスタートしました。微笑みを絶やさない穏やかな人柄はこれまでと変わりませんが、勉強に向かう姿勢に厳しさが出て来ました。放課後質問もいっぱい受けました。

1月のセンター試験、2月の前期試験、そして3月の合格発表。

見事に合格しました。自分の目で自分の受験番号を見届けた足で、学校に来て合格を報告してくれました。嬉しかったなあ。

「あれから人生の中で一番勉強しました。1日12時間は勉強しました!」

いつもは自分のことをあまり話さない生徒でしたが、このときは自分で自分のことを褒めてあげているようでした。

さあ、受験生の皆さん、一分一秒を大切にひたむきに頑張りましょう。

